

平成21年度 1月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

1月は新しい年になったということもあり、NGO立ち上げや、新規で活動をしたいという前向きなものが目立つように思われた。一方で、1月におきたハイチ大地震への関心も高く、支援や寄付の相談が相次いだ。また、依然として、不況の影響から就職難や、雇用の問題が多く発生し、就職ができない分、NGOへの参加や、青年海外協力隊への参加が多くなっているのも傾向のひとつに見られるものだ。学校関係者の開発教育への関心も高く、特に22年度、国際理解研究会の北海道大会を開催する函館では、定期的な勉強会をやる動きもあり、一層の地域の国際化・協力の推進が行われてゆくように思われる。これらの状況を踏まえながら、より積極的に相談業務を行ってゆきたいと考えている。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	ハイチ地震支援について	
相談内容	地震支援を行いたいけどどのように関わったら良いかを教えて欲しい。	
対応内容	JICA関係者が、ハイチに派遣されており、いろいろな情報が入ってくることから、報告会の提案をする。また支援活動をしているNGOを紹介した。NGO活動全般にも関心を持っていることから、JANICの国際協力ハンドブックやNGO相談員リストを紹介しながら説明をした	
特筆した理由	①非常に多くのところから自分たちに何ができるのかと問い合わせが多かったため ②NGO活動への関心の高さが窺い知れたため	

2	開発教育勉強会の開催について	
相談内容	教職員やNGO関係者による開発教育の定期的な勉強会を開催したいけどどのようにしたら良いか	
対応内容	札幌にある開発教育ネットワークのD-NETを紹介する。また、当団体でも関わっている授業づくりネットワークに活動について説明をする。更に、資料として開発教育協会(DEAR)の教材を紹介することにより、開発教育に関わるツールについて説明をした。	
特筆した理由	①国際理解研究会の北海道大会が道南で開催されるため勉強会の希望が出たため ②複数の教員やNGO関係者からの問い合わせが顕著にあったため	

3	NGOと行政、企業の連携について	
相談内容	NGOと行政、企業がうまく連携している事例について教えて欲しい	
対応内容	北海道NPOサポートセンターや日本NPOセンター、環境パートナーシップオフィスなどの連携事例を元に、セクター連携によるプラットフォームづくりについて説明をした。また、CSRの事例についても話すことで、それぞれの地域ができる連携についても参考資料の提供をした。NGOの視点からだけではなく、行政や企業の立場からも連携を求めていることから、それぞれの立場を考えた連携が望ましい旨について説明をした	
特筆した理由	①NGO、行政、企業の立場に関わらず、連携の関心が高まっているため ②連携についての関連問い合わせが多く見られたため	